

## 第5学年 国語科学習指導案

児童 5年1組 男子21名 女子17名

指導者 釜石 由仁

1 単元名 優れた表現に着目して，作品の一番の魅力を推せんしよう

2 学習材名

中心学習材 「大造じいさんとガン」(光村図書5年)

補助学習材 「イノシシのねぐら」(理論者社)他 動物を描いたもの 椋鳩十作品

3 単元を貫く言語活動とその特徴

優れた表現に着目しながら物語を読み，その素晴らしさを作品の一番の魅力として本の帯で推薦すること
---

本単元を貫く言語活動として「優れた表現に着目しながら物語を読み，その素晴らしさを作品の一番の魅力として本の帯で推薦すること」を位置付けた。物語を情景描写などの優れた表現に着目しながら読み，「優れた表現とその解説」「作品から伝わってきたこと」を本の帯で推薦する。その推薦の根拠となるのが情景描写などの優れた表現である。情景描写などの表現の素晴らしさを前後の文脈の流れと結びつけて本の帯に書くという言語活動は「登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉え，優れた叙述について自分の考えをまとめること」(C読むことエ)の実現に結び付くと考えた。

4 単元について

(1) 児童について

児童は，5年「のどがかわいた」では，叙述から人物像をとらえ，登場人物の関係の深まりや心情の変化を読み取り人物相関図に書くことを学習してきている。そして，「百年後のふるさとを守る」で伝記を読み，人物の生き方や自分に生かせるところをリーフレットにまとめている。これらの学習を通して，叙述をもとに人物について想像を広げ，自分と比べて考えるということができるようになってきている。しかし，登場人物の心情と情景描写とを結びつけて，優れた表現に着目して読むことや，叙述に即して事実や心情を読み取ることについては，指導していく必要がある。

(2) 指導について

中心学習材「大造じいさんとガン」は，豊かな情景描写が特徴の学習材である。それらの表現が大造じいさんの心情の変化につながっており，読み手をますますその作品の世界に引き込み，感動を生み出す物語である。よって，本学習材は「情景」というものに初めて出会い，その優れた表現に気づきながら読みを深めていくのに適していると考えられる。

補助学習材は「イノシシのねぐら」はじめ椋鳩十の作品の中から，「大造じいさんとガン」と同じ動物を題材にした物語を選書した。動物と自然との関わりは切り離せず，椋鳩十の動物が主人公の作品には情景描写が豊富にある。また，動物だけに会話文よりも行動が詳しく書かれており，児童が情景描写に焦点をあてながら主人公の心情について想像を広げながら読み進めるのに適している題材である。情景描写と心情とのつながりを自分で発見した際に，物語の感動を生み，作品の

魅力として推薦することができると思う。

単元を通して次の三つを大切にしていきたい。

一つ目は、「表現の効果を考えながら、物語を読むこと」である。初めて触れる情景描写に込められた主人公の心情を考える活動はつまずきが予想される。そこで、情景描写が多い本作品で、作者はなぜそのように表現したのか、その効果を考える活動を大切にしたい。情景描写が無くとも物語は進むのであるが、情景描写があるときの表現の効果を学び、自己の表現につなげられるようにしたい。

二つ目は、「魅力的な場面を考えながら、物語を読むこと」である。作品全体を読みながら、一番魅力的な場面を見つけるようにさせる。その際、魅力を感じた言葉や文章に線を引きながら読むようにさせる。児童一人一人が叙述に向き合い、感覚だけで情景や心情をとらえるのではなく、一つ一つの言葉にこだわって読み進めていく大切さを感じさせたい。

三つ目は、『本の帯』に書く項目を意識して物語を読むことである。書く項目の「キャッチコピー」、「テーマとおすすめの言葉」は既習事項であるので、あまり時間をかけずに進め、「優れた表現」「その表現の素晴らしさ」に重点を置いて指導する。特に「その表現の素晴らしさ」はどう書かせたいのか教師がはっきりと児童に示していきたい。

本時は、「大造じいさんとガン」の一番のおすすめの情景描写を決め、どうしてその表現を選んだのか理由を考えさせる。そして、同じ情景描写を選んだ児童でグループを作り、選んだ理由を交流し、自分の考えとの違いを見つけ、自分の考えを広げたり深めたりする活動を通して、本の帯を作る活動へとつなげていきたい。

## 5 単元の指導目標

○物語の中で最も魅力的な場面や優れた表現を味わいながら読もうとしている。

(関心・意欲・態度)

○本を推薦するために、情景描写と登場人物の心情とを結びつけて、優れた表現に着目してその美しさを味わいながら読むことができる。

(読むことエ)

○語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ))

## 6 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語文化についての知識・理解・技能
おおむね達成できる状況	自分が推薦しようと考えた理由を明らかにしながら物語を読み、本の魅力を伝えようとしている。	物語を推薦するために情景描写などの優れた表現に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいる。	言葉の使い方に着目し、優れた情景描写の様子を想像している。

7 単元の学習計画及び評価計画（読むこと 9時間）

段階	時間	学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
見 通 す	1	1 単元の目標，言語活動をつかみ学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導者が椋鳩十作品の一つから作成した本の帯を提示し，単元の目標をもたせる。</li> <li>○本の帯に書く内容（4つ）を知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピー</li> <li>・テーマとおすすめの言葉</li> <li>・優れた表現</li> <li>・その表現の素晴らしさ</li> </ul> </li> <li>○ブックリストから読んでみたい本を何点か選ばせる。</li> <li>○本の紹介をすることを確認する。</li> <li>○作品の魅力だと感じたところに付箋を貼ることを伝える。（3枚）</li> </ul>	<b>関</b> 一本を読んで，本の帯をつくることに興味をもち進んで並行読書の本を読もうとしている。 (ワークシート)
		優れた表現に着目して，作品の一番の魅力を推せんしよう		
	2	2 読みの視点を知る。 ○二つの文章を読み比べ，表現の効果に気付くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同じことを伝えるにも表現の仕方によって読み手に与える印象が異なることに気付かせる。</li> <li>○優れた表現の効果について考えさせる。</li> </ul>	<b>読</b> 情景描写などの表現の効果に気づいている。 (ワークシート)
深 め る	3	3 全文を読み，あらすじをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物の確認をする。</li> <li>○大造じいさんの行動を中心に読ませる。</li> </ul>	
	4	4 登場人物の心情を読む。 ○心情が表現されている言葉を見つけ，どんな気持ちか想像すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大造じいさんの気持ちがわかる言葉にマーカー（ピンク）で印を付けさせる。</li> </ul>	<b>読</b> 一線を引いたところから気持ちを想像している。 (ワークシート)
	5	5 情景描写を集める。 ○文章全体を読んで情景描写の素晴らしいところを見つけ，そのよさについても書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情景描写の視点を与える。</li> <li>○情景描写にマーカー（緑）で印を付ける。</li> <li>○「いつもなら～と表現するけど…」という視点で見つけさせる。</li> <li>○素晴らしいと思った理由を書かせる。</li> <li>○情景描写がある場合とない場合では，大造じいさんの気持ちを想像する際，どのような違いがあるか考えさせる。</li> </ul>	<b>読</b> 優れた点について言葉の効果を考えて説明している。 (ワークシート)
	6	6 情景描写と心情を結びつける。 ○前時にマーカーを引いた心情と情景描写のつながりを見つけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前後の文脈の表現に気をつけて読ませる。</li> <li>○一番の魅力として自分が最も素晴らしいと思った表現を選び，理由とともに書かせる。</li> </ul>	<b>読</b> 情景描写から登場人物の心情を想像し書いている。 (ワークシート)
本 時	7	7 本の帯を完成させる。 ○本の一番の魅力について自分の考えをまとめること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おすすめの理由をテーマと関連させて考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピー（テーマ）</li> <li>・おすすめの理由</li> </ul> </li> </ul>	<b>読</b> 作品のテーマをとらえている。 (本の帯)  <b>言</b> 優れた表現に関心をもち，その効果を考えている。 (本の帯)

広 げ る	8	8  自分の選んだ作品の本の帯を作る。 ○一番の魅力について自分の考えをまとめること	○付箋を貼っていたところを一つに絞らせる。 ○一番の魅力だと思ったところを引用させ、その理由も書かせる。	【読】—表現の素晴らしさに着目し、作品の魅力をとらえている。 (本の帯)
	9	9  本の紹介をする。 ○本の帯で作品の魅力を推薦すること	○「お気に入りの表現」として選んだ理由を読書経験や使ってみたい言葉、印象の違いの視点で見つけさせる。 ○たくさんの本の帯を読み、感じ方の違いや様々な表現を知る機会とする。	【読】—友達の作品から考えを広げたり、表現を学んだりしている。 (ワークシート) 【言】—優れた表現に関心をもち、その効果を考えている。 (ワークシート)

## 8 本時の学習（6／9）

(1) 目標 おすすめの情景描写を選び、その理由を交流することを通して、考えを深めることができる。

### (2) 展開

段階	学習活動	学習内容 (◎主発問)	指導と評価のための工夫
導 入  3	1 前時の学習を想起する。 2 本時の課題を把握する。	○優れた情景描写を集めたことを確かめる。  おすすめの情景描写を選び、その理由を交流しよう。	・前時に集めた情景描写から一番のおすすめの情景描写を選ぶことを確認する。
展 開	3 おすすめの情景描写を決め、理由を考える。  4 選んだ情景描写の理由を交流する。 (グループ)	○一番のおすすめを1つ決めること ○前時に書いた各場面1つずつの情景描写の付箋を用いて、おすすめの情景描写を1つ選ぶこと ◎自分の一番のおすすめの情景描写を決めましょう。そして、どうしてそれを選んだのか、その理由を書きましょう。 ○同じ描写を選んだグループごとに一番のおすすめの理由を決め、自分の考えを深めたり広げたりすること ◎同じ描写を選んだ人同士で理由を発表し合い、自分の書いた理由との相違点に気をつけて交流しましょう。 ・「この描写を使うことによって、こんな気持ちができる」 ・「根拠になる言葉は・・・」 ・「一番のおすすめは、・・・」 ・「その理由は・・・」	・一番おすすめの詳細を決め、その理由を書かせる。  ＜評価規準＞ おすすめの情景描写を選び、その理由を根拠になる言葉を示しながら、ワークシートにまとめている。 (ワークシート)  ・情景描写があるものとないものを比較して、どうして入れたか考えるよう支援する。

37	5 一番のおすすめの情景描写を交流する。(全体)	<p>○自分と友達の考えの類似点と相違点に気がつけながら聞くこと</p> <p>○おすすめの情景描写と理由を発表させること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を明らかにして交流させる。</li> <li>・自分が交流の中で広がった考えを発表させる。</li> </ul>
終末 5	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の学習を確認する。</p>	<p>○振り返りカードに記入すること</p> <p>○「大造じいさんとガン」の本の帯を完成させることを予告すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写と心情の関わりについて振り返ることで、本時に身に付けた力を実感させる。</li> <li>・完成に向かう喜びを喚起し、意欲的に本の帯の作成に向かわせるようにする。</li> </ul>

(3) 板書計画

優れた表現に着目して作品の一番の魅力を推せんしよう  
「大造じいさんとガン」

おすすめ的情景描写を選び、その理由を交流しよう。

一、一番のおすすめ的情景描写を理由とともに書く

二、交流①(グループ 十五分)

- ・同じ情景描写を選んだ人たちがグループになり、大造じいさんの気持ちとぴったり合っている理由を一つ決める。
- △意見を一つにまとめる話し合い▽

三、交流②(全体 十分)

○おすすめ的情景描写

おすすめ的情景描写

五、ふりかえり